



クールシェアイベントで、昔の川遊び「たらい船」を体験する子どもたち
―1日午後、熊谷市の星川

猛暑日の一寸法師

日本列島は1日、広い範囲で高気圧に覆われ、熊谷市で最高気温35.0度を記録。今年初の猛暑日となった。県南中部と県南東部地区には今年初の光化学スモッグ注意報も発令された。

熊谷地方气象台によると、県内の最高気温は秩父と鳩山で35.3度を観測し、3地点で35度を超えた。2日も引き続き厳しい暑さが続く見込み。同气象台は、小まめな水分補給など熱中症への注意を呼び掛けている。

熊谷・秩父・鳩山
今年初の35度超

熊谷市の中心市街地を流れる星川沿いでは、節電のためエアコンを止めて涼しい場所に集まるクールシェアのイベントが開かれた。昔の川遊び「たらい船」を体験した子どもたちは「一寸法師になったみたい」と喜んでいました。

群馬県館林市や岐阜県揖斐川町では最高気温が36.3度（午後4時20分現在）を記録した。
(橋本浩佑)